

# 議会ガイド



中泊町立中里小学校6年生の皆さん

## 「第4回定例会 傍聴の様子」

平成21年12月7日(月)



### 〈主な内容〉

●第4回定例会	2
●一般質問	4
塚本 悦子議員	5
青山 雅晴議員	6
川山 光則議員	7
荒関 富雄議員	8
角田 順一議員	11
奈良 清治議員	12
●議会傍聴の感想	14
●委員会だより	16
●議会の動き	16

平成二十一年

第四回定例会

平成二十一年第四回中泊町議会定例会が十二月二日招集される。



野上議長

第一日目(十二月二日)

本会議

議員二十名出席のもとに開会。議案録署名議員に荒関富雄議員、塚本悦子議員を指名、会期を七日間と決めた。

次に九議案、報告一件を一括上程し、町長から提案理由の説明後、各常任委員会に付託された陳情の審査結果について報告後、請願一件を採択し散会。

第二日目(十二月三日)

一般質問通告締切

議案熟考のため休会

第三日目(十二月四日)  
議案熟考のため休会

第四日目(十二月五日)  
議案熟考のため休会

第五日目(十二月六日)  
議案熟考のため休会

第六日目(十二月七日)

本会議

一般質問に、塚本悦子議員、青山雅晴議員、川山光則議員、荒関富雄議員、角田順一議員、奈良清治議員が登壇。

第七日目(十二月八日)

本会議

上程してある九議案、追加三議案、報告一件、陳情三件、発議一件、請願一件、について審議した結果、原案どおり可決、同意、承認。

また、要望一件について、総務企画常任委員会に付託して閉会。

審議された議案

条例

○中泊町認知症高齢者グループ

ホーム条例の制定。

小泊診療所の二階部分を高齢者福祉施設(グループホームしおさい)に転用することに伴い、平成二十二年四月一日から介護保険法の認知症対応型共同生活介護を提供する施設として位置づけるため、その設置及び管理について、新たに条例を制定するもの。

○中泊町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正。

国に準じて、職員の勤務時間の見直しをするため、条例の一部を改正するもの。

○中泊町保育所条例の一部改正。

平成二十二年三月三十一日をもって薄市保育所を廃止するため、条例の一部を改正するもの。

○中泊町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正。

企業職員の住居手当に係る支給対象職員の範囲を改めるため、条例の一部を改正するもの。

○平成二十一年度中泊町一般会計補正予算第十一号。

補正額は、歳入歳出とも一億三千四百八十七千円を追加するもの。

補正する歳出の主なものは、旧小泊幼稚園改修工事費、それに伴う備品購入費、災害時要援護高齢者台帳作成委託料、障害者福祉費に係る扶助費、西北五環境整備事務組合負担金、大山長根線林道改良工事費、防災情報通信設備整備工事費、薄市小学校屋内運動場耐震補強工事費及び小泊小学校校舎耐震補強工事費、小泊中学校一号线法面崩落応急工事費などそれぞれ計上。

○平成二十一年度中泊町介護保険事業特別会計補正予算第三号。

補正額は、歳入歳出とも七十一万一千円を追加するもの。補正する歳出の主なものは、介護認定訪問調査委託料及びつがる西北五広域連合負担金並びに保険給付費における給付費等の予算額の組み替えなどそれぞれ計上。

○平成二十一年度中泊町後期高齢者医療特別会計補正予算第一号。

補正額は歳入歳出とも九百四十万八千円を減額するもの。補正する歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金の減額。

その他

○負担付きの寄附の受け入れについて。

町道敷地として使用することを条件とした土地の寄附の申し出がありましたので、これを受け入れることにつき、議会の議決を求めるもの。

○町道の廃止・路線の認定について。

道路敷地の寄附に伴い、現在の町道を廃止し、廃止した路線と寄附を受けた道路敷地について、一路線として管理するため、新たな路線を認定するもの。

○人権擁護委員候補者の推薦について。

現委員の任期が、平成二十二年三月三十一日をもって任期満了することに伴い、後任の委員を推薦するにあたり、

補正予算

○平成二十一年度中泊町後期高

議会の同意を求めるもの。

### ○財産の取得について。

小・中学校用コンピュータ  
ー機器等の購入契約を締結するにあたり、中泊町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第三条の規定により、仮契約を締結したうえで、議会の議決を求めるもの。

## 報 告

### ○平成二十年度中泊町教育委員会事務の管理・執行状況点検・評価報告書について。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第二十七条第一項の規定に基づき、平成二十年度中泊町教育委員会事務の管理・執行状況の点検・評価について報告するもの。

## 発 議 (議会提出案件)

### ○教育予算の拡充を求める意見書

自治体の財政力によって、教育条件の自治体間格差が生じるのではないよう、教育の機会均等の保障や教育条件改善のために関係予算の確保、充実が必要であることから、

国関係省庁に予算拡充を求める意見書を提出するもの。

## 要 望 (議会提出案件)

### ○電源立地地域対策交付金制度の交付延長等を求める意見書の提出について

## 町長提案理由説明



本日、平成二十一年第四回中泊町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には、公私ご多忙中にもかかわらずご出席をいただき、ここに開会できましてことを厚くお礼申し上げます。

今定例会に提出いたしました議案は、中泊町認知症高齢者グループホーム条例の制定についてなど合計十件であります。その概要をご説明申し上げ、ご審議の参考にご供したいと存じます。

## 平成21年 第5回臨時会

11月20日(金)、上程された報告2件、議案10件を原案のとおり承認、可決し閉会。

### 審議された議案

- 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件。  
(平成21年度中泊町一般会計補正予算第8・9号について)
- 中泊町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について。
- 中泊町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について。
- 中泊町職員の給与に関する条例の一部改正について。
- 中泊町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について。
- 平成21年度中泊町一般会計補正予算第10号について。
- 平成21年度中泊町国民健康保険特別会計補正予算第3号について。
- 平成21年度中泊町介護保険事業特別会計補正予算第2号について。
- 平成21年度中泊町特別養護老人ホーム静和園事業特別会計補正予算第3号について。
- 平成21年度中泊町水道事業特別会計補正予算第3号について。
- 負担付きの寄附の受け入れについて。

## 傍聴席は、あなたの席です!!

中泊町議会 平成22年 第1回定例会は、3月初旬です。  
会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。

平成21年第4回定例会の傍聴者は、66名でした。

皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

# 一般質問

※質問議員の発言は、議員間の取り決めにより、800字程度に要約して掲載しています。また、答弁についても要約しています。

## 塚本悦子議員



### 質問 第1 高齢者にやさしいまちづくりについて

健康で長生きできることは、誰も願っており、新型コロナウイルスが全国的に猛威を振るっており、ワクチンは医療従事者や妊婦などを優先する方向で高齢者は後回しとなっております。新型コロナウイルスにかかったお年寄りが肺炎を併発し、重症化になる事例が多くあります。私はリスクの高い高齢者に肺炎球菌ワクチン予防接種を受けてもらうことが非常に大事だと思います。

福岡県の吉富町は、10月から70歳以上の町民に対する予防接種を無料化しています。我が町独自の対策が必要ではないでしょうか。

### 質問 第2 新幹線青森駅開業に伴う、町観光行政について

各市町村では、大きなテーマを設けて観光客集めに奔走しております。その点、我が町では他市町村に比べて遅れをとっていると言わざるを得ないと思います。町ホームページには、沢山の見どころ、景観が掲載されており、津軽伝統金太豆蔵人形一座公演は大好評であります。

観光を主とし、それに農林水産業を付随させた大々的なキャンペーンを実施してはどうかと思っております。観光と産業が表裏一体でなければなりません。歴史と文学に造詣の深い小泊の柳沢氏にお願いをし、プロジェクトチームをつくり上げてはどうかと思うのです。町の観光客誘致計画の進捗状況及び方針を、具体的にお知らせください。

### ●小野町長答弁

いよいよ県民の夢と期待を乗せた東北新幹線全線開通、新青森駅開業が1年後となりました。私は、この新幹線の開業は、青森県を助ける救世主になってくれればと思っており、県経済の発展はもちろん県民所得の向上のためにも大いに期待しているところであり、そのためには、県、市町村、関係団体と連携を密にとりながら地域の魅力をつくり、育て、発信することが必要と思っております。



小説「津軽の像」記念館



徐福の像

幸い当町では、権現崎、眺瞰台、袴腰岳などの風光明媚な観光名所が多く存在し、また全国に誇れる金太豆蔵の伝統の人形劇、太宰文学、「津軽」の心のふるさとでもある津軽平野また津軽海峡からは多種多様な食材の恩恵を受けている地域でもあります。しかしながら、魅力にあふれていても全国的な知名度はまだ低く、観光客の受け入れ、おもてなしなど課題も多く抱えており、このことから1年後となった新青森駅開業までに広域的視点に立ち、中泊町だけを考慮する地域振興策だけではなく青森県が行う事業と連携を図り、広域的な観光の振興をあわせて早急に進めたいと思っております。

## ●木村支所長答弁

観光振興は、中泊町長期総合計画の基本構想、大地の恵みと体感する観光振興をもとに、その時々の流れを踏まえ、観光行政に努めているところです。新幹線が主なもので、特に観光の振興策に体験、着地型、人材の確保など欠かせないテーマが課題かと思っております。また、観光の振興には、農商工連携も大変重要な課題と認識しております。

そこで実施している過疎集落の安心、安定の暮らし維持構想事業は、中泊町にとって観光の一助となるものと確信しています。この事業の中で地域の資源を生かし、中泊町を元気にしようを基本とするテーマで現在勉強会、ワークショップなどを開催し、中泊町の資源を地域住民の力で掘り起こす作業を行っている状況から、観光の振興策につきましては、ただいま進行中というところです。

さて、観光誘致及びPRの意気込みは、誘客の糧として津軽中里駅に金太豆蔵人形劇場の常設、これに伴う支援隊による物産品の販売など、また婦人団体の企画により、大沢内駅構内での漬物まつり、さらには小泊地域の小説「津軽」の像を媒体とした実行委員会が組織されて、開発事業も行われているところです。中泊町らしさの企画で事業は今現在進められているところであります。

議員からの柳沢氏の活用をし、プロジェクトチームを立ち上げるといふことも含め、今後はさらに中泊町に眠る多くの観光資源を生かして、農商工連携の取り組みを課題とした観光振興を促す努力をしたいと思っ

ております。

そこで、中泊町の観光PRは、観光商品、施設など再点検をして受け入れ体制を整え地域の方々と連携を密にし、多くの観光客を誘致できる体制づくりに努めたいと思います。

## ●小野町民課長答弁

肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチンの両方を接種すれば、単独の接種よりも肺炎の予防効果をもっと高まると、そう言われております。そして、接種を勧められているのは65歳以上の高齢者、心臓や呼吸器に慢性疾患がある方、腎不全や肝硬変の方、糖尿病の方、以上の方々などであります。

肺炎球菌に対する予防は重要ではありますが、肺炎球菌による肺炎は約3分の1と考えられております。残りの3分の2は肺炎球菌以外の病原体が原因であり、それらに対して肺炎

球菌ワクチンは全く効果がないとも言われております。したがって、このワクチンを接種すれば、肺炎にかからないということでは決してございません。

また、1回の接種での免疫効果は5年持続すると考えられております。現在日



毎月第一土曜日開催の  
「金多豆蔵一座」



本では、2回目以降のワクチン接種は禁止されております。禁止されているということは、継続して接種した場合、人体に対する何らかの悪影響があるからであると判断せざるを得ません。そういったもろもろの状況を勘案の上、今後ワクチン接種の需要がどの程度あるのか、必要性や効果はどうなっているのか。そして、他市町村の一部助成あるいは無料化の動向など、総合的に見きわめながら検討してまいりたいと考えております。

## 塚本悦子議員再質問

高齢者の皆さんにこれからも元気で、私たちの人生の指導者として頑張って頂くために、せめて70歳以上の肺炎球菌ワクチン予防接種無料化を前向きにお考え願いたいと思います。

次に観光についてですが、具体的に実行して成果を上げていただきたいのであります。先行投資をし、観

光業者達を招待して、人と自然が共存する名水百選に選ばれた大沢内の湧きつぼの会長さんなどを案内人として、観光していただくのが非常に大事だと思うのです。この町に眠っている人材を発掘し、ぜひとも早く結果が見えるように取り組んでいただきたい。

突然ですが、小学生も傍聴していますので、教育長に歴史と文学で教育の面から、文化観光として何か良い施策をお持ちでしたらお聞かせ願います。

●加藤教育長答弁

今文化、観光という言葉を久方ぶりに聞いたわけがありますが、当時、木村知事誕生で文化観光立県を宣言いたしました。この文化、観光というこの中身がすぐよかったと思っております。

当時「津軽」の像ができておりましたので、知事はいろんな会合の席上で小泊のこの「津軽」の像が文化、観光の津軽の目玉だとよく紹介してくれておりました。したがって、今の中里駅前にできた金多豆蔵一座もまさしく文化、観光なのです。文化財ですから、私どもの町のイメージアップにつながっていると思っております。

それから、私今、いろんな方々から提案されているものがあります。それは、この中泊町、旧小泊村、旧中里町には、昔歴史の人物がものすごく来流しているのです。

古くからいけば、徐福から始まるわけけれども、吉田松陰、それから伊能忠敬、菅井眞澄、近年では司馬遼太郎など、こういう人たちが多く来ています。この人たちの何で来たのかということをお碑に刻んで文

化、観光のロマン街道といいますが、そういうふうな形で何とか碑をつくりたい。いろんな人たちの意見をまとめながら、これから担当課にこれから進言をしてまいりたいと思います。

青山雅晴 議員



質問 第1

個人の所有地に町の建物(火葬場)が数十年放置されている。速やかに撤去を

今泉の斎場、火葬

場は昭和30年頃から40年にかけて現在の建物できております。当時は、開拓地でありましたが、その後個人所有となり、現在に至っております。建物も45年くらいたっており、老朽化が激しく、住民も大変困っております。また、他の地区に



小泊漁港



下前漁港

は、個人所有の土地に町の建物がないのか、早急に調査し、速やかに撤去して下さるようお願いいたします。

●横山環境衛生課長答弁

旧中里町でも14の集落に火葬場があり、それぞれ名称は違ったにしても、管理委員会等が墓地と併せて管理してきたところがあります。

その後、時代の流れ変遷に伴い、現在の町営斎場ができた昭和54年以降は、各集落の火葬場は使われなくなり、順次解体され、現在残っているのは今泉集落のみとなっております。

議員ご指摘のとおり、今泉の火葬場は調べたところ個人名義の土地になっています。今日までそのような形で残っているということは、そこに何か特別の事情があったものと推察されます。今後土地所有者や集落

の方々とよく相談し、どのような取り組みをすればいいのか検討したいと思っております。

それから、町の土地でないのに、そういう建物等が建っていないのかという質問ですが、私の知っている限りでは、各集落にある主に集会施設、それらはほとんど町の土地だと思っております。消防の分団の屯所については、二、三カ所は事情があつて個人の土地を借りて、建てらせてもらっていると聞いております。

### 青山雅晴議員

今、課長から町内にかつて14カ所あつたとお聞きして、私も確認しております。ただ現在齋場が残っているのは今泉だけで、あとの質問の中で個人所有の中に町の建物、私もこれは消防の屯所あるのを把握しております。いずれにしても老朽化が激しいところは早急に対処していただきたいと思えます。

### 川山光則 議員



#### 質問 第1 ゴミの収集について

ごみの収集について、先般私たち商工会観光部会のメンバー十数人で今泉地区のごみ拾いを行ったのです

が、その後のごみの処理の問題で皆さんの考え方がバラバラでした。今一度住民に説明をするか、収集場所近くに看板等を立てて、説明書を張り出しておるか、いずれにしてもよりよい方法で今一度行うべきだと思いますが、当局の考えを伺います。

#### 質問 第2 新幹線対応について

平成22年12月新幹線新青森駅開業に向け、周辺の整備工事が急ピッチで進んでおります。県や近隣の市や町はそれなりに対策を考えて話が進んでいるようですが、残念ながら当町では私も再三質問しておりますが、なかなか妙案がないのか、話題すら上がっていないように見受けられます。

そんな中で竜泊観光協議会(旧小泊村と旧三厩村で組織)の会議の中で話題にのぼったのが、新幹線青森駅から観光バスか大型タクシーを利用して、各地の名所を見学しながら、三厩又は中泊に宿泊してもらう。あるいは、日帰りの利用でも津軽半島を一周してもらう。そういうツアーバスを出してはどうかという案が出ました。

まだ大ざっぱな意見ですが、残念ながらやろうとしても民間だけの力では財源に乏しく、先に進めない計

画です。そこで、県や町に資金協力してもらえないか。又、国にも支援する制度がないか。町長や担当課長の考えを伺います。

### ●小野町長答弁

私の新幹線対応についての思いは、先ほども申し上げましたが、私はこの新幹線の開通により、青森県はこれまでにない人との交流が活発になり、産業、文化、観光面等に大きな影響を与え、多大なる経済効果があるものと期待しております。私どもの中泊町におきましても、その恩恵を受けたいとは思いますが、中泊町だけを考える地域振興策だけではなくして奥津軽の中の中泊らしさをどのように演出するか、早急に私ども検討してみたいと思っております。このことから現在実施している、元気な青森づくり支援事業や安心、安全の暮らし維持構想策定事業により、地域の方々と一緒



ライオン岩とライオン海道



になった地域づくりを推進してまいりたいと考えております。

### ●木村支所長答弁

東北新幹線関連の対応につきましては、県初め県内一円の観光資源の掘り起こし、受け入れ体制づくりとPRのため県庁が資料を整理し、全国のエージェントに情報を発信して観光客の誘致を促す体制づくりを実施しています。

質問の主旨は、津軽半島の周遊を広域的に実施するものとお伺いいたします。この事例は、従前にも行政主導で幾つか事例があったと聞いております。議員のご指摘の民間の組織である三厩、小泊両観光協会で組織する竜泊観光協議会が観光の振興に思いを経て企画されたものと思っております。

確かに新幹線開業に向けては、県はじめ各市町村も案内人の育成、ツアーモデルの事業などを企画してお



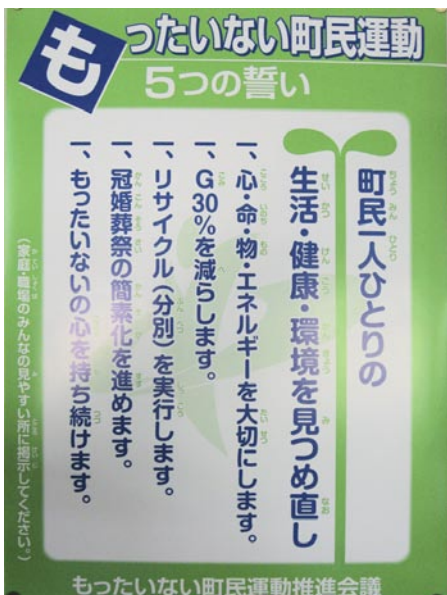
ごみの分別をしましょう。

ります。よって、観光協議会が実施を予定するその事業の内容についてよく聞き取り、精査し関係する機関との協議を経てできるだけ実現に向けた体制づくりに努力したいと思っております。

### ●横山環境衛生課長答弁

日ごろ町民の皆様には、ごみの収集や分別、減量化さらにはリサイクル等にご協力をいただきまして感謝申し上げます。

ごみの分別、出し方には、問題となるケースもあります。例えば生ごみの水切りがきちんと行われていないもの、燃やせるごみと燃やせないごみを同じ袋に入れて出している場合、リサイクル品の缶類なども新しい缶と錆びた缶、吸い殻などが入った缶を同じ袋に入れリサイクルにならない場合があります。そういう極端にひどいものは、収集しない場合もあります。そこにはなぜ収集しないのかという、その理由を書いたス



テッカーを張っておくケースもあります。

いずれにしても、ごみの取り扱いに関しては、今年9月に町内全戸に配布した家庭用ごみ分けガイド、これが基本になります。これをご覧になって参考にしていたいだきたいと思えます。また、環境衛生課のほうへ直接問い合わせいただいても結構です。いずれにしても、ごみ収集には今後とも町民の皆様のご協力を仰ぎながら収集業者と連携をとって不便をかけることのないよう取り組んでまいりますので、ご理解のほどをお願いいたします。

また、看板設置あるいは説明会等、さまざまな機会を利用してごみの分別をしっかりとやらせてもらうよう努力も続けてまいります。

### 荒関富雄 議員



#### 質問 第1 国民健康保険税について

国民健康保険税について、昨年度の未収金が2億2,200万円ほどになっております。そして、新政権ができました後期高齢者医療制度を廃止して、また国民健康保険税の再編等が検討されており、そういう場合には未収金というのはどういう形で処理されるものな



のか。国民健康保険税の再編ということが最近富みに騒がしくなっておりますので、行政ではどう考えているのかお聞きしておきたいと思えます。

今年度の納入済額と給付費の状況についてであります。今年度は、徴収方法が変わりましたので、前年度との対比にはならないと思えますけれども、現在の状況。また、納入者の所得状況についてもお伺いしたいと思います。

近年、特に経済状況が悪くなったため、国民健康保険税の納入が悪くなったのか、そうではなく合併当初から積み重なった結果、こう2億2、200万円というような高額の額になったのか、お聞きしたいと思います。

## 質問 第2 若者定住化対策について

非常に大きいテーマですが、若者の定住化対策についてであります。この定住化対策というのは、近年富みに高齢化、少子化が叫ばれております。その一因ではないかと思うのであります。若者が定住しなければ、決して子供も生まれません。それに子供がだんだん少なくなっていくます。高齢化が進行していきます。それを食いとめる唯一の方策は、私は若者の定住化対策だと思っております。

若者の定住化対策なくして町の発展はありません。それには、行政は雇用の支援、若者の結婚活動、カッブルができなければ子ができないわけでありますので、そういうことを真剣に考えなければ、この地域の浮上はないものと思っておりますので、良いプランがござ

いましたらお聞かせ願えればと思えます。

## ●小野町長答弁

ご質問の内容は、大変難しい問題であり、常にまちづくりの課題として取り上げてきており、若者の定住、住宅の整備など対策を講じてきましたが、正直申し上げ特効薬がないのが現状でございます。

若者の雇用支援については、国が経済対策として平成21年度から支援を行っており、平成23年度までに延べ111名の雇用の確保が図られております。町では、これまで雇用の場の創出、そして企業の誘致を進めてきましたが、現状では多くの企業が撤退しています。このことから、町の特色を生かした農業、漁業を活用した定住策を考える必要があります。

マスコミや各種講演会等では、若者が農業に従事して成功している例が最近多く紹介されていますので、それら先進事例をよく調査してみたいと考えております。

また、雇用の創出には、働く人の能力向上を図ることも大きな条件となります。各種制度を活用した資格の取得等を積極的に支援していきたいと思えます。

婚活の支援ですが、現在は行政として取り組んでおりません。ただ私の周りの人たちの話を聞いても、若い人たちが結婚できない状況は非常に深刻な問題であり、多くの方々が悩んでいるようであります。

町内においては、本年株式会社アクトプランが婚活のイベントを主催し、幾つかのカップルが誕生したと伺っております。このような出会いの場の提供により改善されるものと思っております。これら実践してい

る方々にも意見を聞くなど、町としても新年度において、これらの実践者への支援等も含め、何らかの対策を講じたいと思っております。

## ●今税務課長答弁

最初に収納額であります。11月末現在、額にして現年度分で3億5、478万3、050円、率にして54.32%、対前年度に比べますと14.38%のマイナスとなっております。これは納期が6期から9期へと変更になりましたので、その関係で少し額が落ちております。

また、滞納額であります。11月末現在で収納額は1、786万46円、率にして8.05%、対前年度に比べますと1.24%伸びております。全体の収納額では3億7、264万3、096円、率で42.59%、対前年度と比べますと10.82%減となっております。納期の変更が大きな影響だと思えます。収納の状況におきましては、対前年度と同様に推移しているものと思えます。

加入者の所得の状況であります。国保の加入者の所得は毎年減っております。去年と今年比較しますと、4、500万円ほど減になっております。また、滞納者の所得状況であります。約75%以上の方々が所得の低い方となっております。又制度の変更に伴う滞納額の処分は、まだ新しい制度決まっていますので、制度がわかり次第検討していきたいと思えます。

それから、徴収ですけれども、最低でも昨年度並み、それ以上に徴収していきたいと考えております。税の

徴収対策本部を中心といたしまして収納率の向上に努めてまいりたいと思います。

### ●小野町民課長答弁

国民健康保険の給付費の状況についてお答えします。本年度の決算見込額といたしましては、14億5、000万円前後になるのではと現在のところ予想しております。給付費の総額としては、昨年度とほぼ同じか、若干上回るぐらいであります。1人当たりの年間給付費は、合併以後17年度以降、毎年右肩上がりとなっております。被保険者が減少する割には、給付費総額が下がらないのが現状であります。

その要因として考えられますのは、後期高齢者医療制度になる前の老人医療制度において、被保険者の年齢を70歳から75歳に引き上げたことに伴い、70歳から75歳までの病院にかかる割合が比較的高い高齢者の被保険者が増えたことによるものです。今後、団塊世代の方々が80歳を迎える、今から20年後が高齢化社会のピークと言われておりますので、医療費はまだまだ伸びるものと思われまます。

現在の日本では、死因の約3分の2、医療給付費の約3分の1が生活習慣病によるものと言われております。医療費の増嵩を食い止めるためにメタボリックシンドロームに着目した特定健診と特定保健指導が昨年から実施されております。このメタボというのは、内臓の周囲の脂肪が多い方は、動脈硬化を促進し、心臓病や脳卒中などの重い生活習慣病に進む危険性があります。

40歳代から50歳代の方々に将来に備えて生活習慣を

改善し、病気にかかりにくい体質づくりをしていただきたいと考えています。特定健診は予防が目的です。数年先の給付費抑制の観点から各種検診及び特定健診の受診率向上及び早期発見早期治療のPRに努めてまいります。

### 荒関富雄議員再質問

医療費の給付が伸び、未収金が2億いくらになったために、税から出ていく分にすれば6億円ぐらいになった。昨年は確か13億円くらいで終わったと思うのですが、今回聞けば、10億円から14億円になると、そうなったときには、いわゆる収納率をもっと伸ばさなければ、また赤字が出るのではないかと懸念されます。

それと、若者の定住化対策について、農業、漁業だけではなくて、今は農業だけ、漁業だけという1次産業だけではどうにもならない時代に入っております。この農工商漁業もみんな力を合わせて、若者の定住化のことを真剣に考えなければならぬ時代にもう入ってしまったのだと、そういう認識のもとにいるんな政策を講じてもらえればと思っております。

国民健康保険税については、本当に努力の結果を出してもらわないと、国民健康保険税そのもの、この制度そのものをもう維持できなくなっていくような状況になれば、非常に困りますので答弁願います。

### ●今税務課長答弁

まず確かに滞納額、非常に多い状態です。この対策ですけれども、今の12月の広報にも載りますけれども、

今まで差し押さえを不動産でしていましたが、今後は動産にも差し押さえして、最悪公売まで実施し、徴収対策をもっと強化していきたいと考えております。

### ●小野町民課長答弁

保険給付費の支払いが徴収率が悪ければできなくなるのではという、それとあと制度上維持できなくなっているのではないかとご質問ですが、全く議員ご指摘のとおりであります。最近の新聞紙上等にも出ておりますように、今の民主党の政権が打ち出しているように、3年以内には今の制度を見直したいということで後期高齢者医療をなくして国民健康保険、それから社会保険を一体化して、青森県で一つの被保険者になるような、そういう今仕組みを検討している模様です。

現在でも、当町においても20年度で214万円という赤字が出たのも事実です。21年度の決算見込みでもそれ以上の赤字が予測されております。そういう観点からして、税の徴収一生懸命税務課で考えております。医療費の抑制にもますます力を入れなければいけない



と思っております。

**荒関富雄議員**

大変危機的状況にあるという認識は一緒だということとで、更なる努力の結果は来年度出てくるわけですので、常に赤字ではなくて、健康保険税というものはみんな守らなければ大変なことになるのだということ、町民の意識高揚も税務課等でも図ってもらいたいと思います。

**角田 順一 議員**



**質問 第1**  
**駐車して除雪車が除雪できない状況について**

最近暖冬のためか、雪の量が全く少なくなつたことは、これは言うまでもありませんが、雪は一夜にして大雪になるので、安心できるようなものではないと思います。下前地区は、土地も狭いし、上を見上げると、今にでも大きな岩石が崩れそうな格好の場所に住宅が密集しており、車庫をつくる土地もない方々も正直あります。毎日毎日町道に駐車しており、大きな事故は発生していませんが、苦情は沢山あることは事実

であります。

困るのは冬期間であり、人にはそれぞれの言い分があるようですが、道路を私物化しているような考え方は地域住民としては理解に苦しむところです。重病人が発生して救急車を要請しても、その場所にたどり着くにはなかなか困難であり、消防署、警察、行政で密に連絡を図り、人命尊重を優先した考え方でなければ、事故が発生したときにただ頭を下げて済みませんでは通る社会でもないし、お互いにルールを守って地区の安全と行政の指導を受けながら町民のご協力をお願いいたします。

**質問 第2**  
**国定公園と特別保護地について**

春になると新緑があらこちらに群集をなして自然

の営みで空気もさわやかであります。県外の人たちが入山し、多種の植物と小さな木々を根本から盗掘し、葉草にするのか理解できませんが、山々には小さな穴だらけで、見るにも無残な光景であります。国定公園と指定されているが、何一つ管理、環境保護されていないことはま



下前地区の様子



とに残念であり、このような状況が続くと、植物は枯れ、木々もいずれは減少して我々の目にも新緑の景観が失うことがないように、国定公園の名のもとで、次の世代に継続して自然環境を守り、行政も真剣に取り組む必要があると思います。

**●小野町長答弁**

小泊地域には津軽国定公園、中里地域には芦野池沼群立自然公園が指定されております。議員ご指摘の山野草などの盗掘については、小泊地域だけではなく中里地域においても同じような盗掘事件があることから、大変苦慮しているところです。心ない人により自然環境が破壊されている現状には心が痛む思いであります。

問題の盗掘についての対応として、青森県では高山

植物等盗掘防止対策事業により盗掘の未然防止、植物の保護を啓発する看板の設置、リーフレットの配布などをを行い、保護に努めているものであります。この件につきましては、盗掘防止の啓発看板を設置するように早急に県と相談いたします。

### ●赤石支所管理課長答弁

旧小泊時代から議員ご質問の場所は、下前浜地区で県道権現崎線と県の漁港施設用地で道路として利用しております。旧小泊時代にもこのような苦情がありまして、その際、職員が車を持っている自宅にお伺いし、一段下がった漁港施設用地に駐車スペースがありますので、そこに移動していただいて除雪をしていただいた経緯がございます。

議員ご質問の場所は、県道権現崎線と県の漁港施設用地ということで、町から委託された業者の除雪は対象外となっておりますが、町といたしましては、災害等による緊急事態に消防車あるいは救急車が通行できないこともあり得ることから、本町と連携をとり、県と早急に協議してまいります。

### 角田順一 議員再質問

救急車も行かれない消防車も通ることができず、私は事故があれば困るから言っているのです。道路を私有化するような考え方は地域住民として理解に苦しみます。行政と密に連携を図り、お互いルールを守って、安全と管理体制を強化していただきたい。

国定公園は、県知事がこれは最終的には審議会の意見を聞いて、必要だとあれば決定をします。最近

は県外から来て4月、5月ころになると盗掘していきます。今後盗掘が横行すれば、権現崎一帯の景観が失うことになり悲しいことでもあります。早急に大きな看板をかけて、行政も環境保護の大切さを考えるべきだと思います。

### ●木村支所長答弁

盗掘の問題につきましては、県と協議を進めて、盗掘防止の看板を設置する予定で進めているところです。確かに広範囲な山河を管理するのは非常に難しいわけですが、できるだけ県の駐在管理員とも協議をして、十分対応できるように双方協議の上、努めたいと思います。

## 奈良清治 議員



### 質問 第1 公用車の払い下げについて

指名競争入札のあり方で、2、3項ほどお尋ねします。6月中旬の建設工事入札があり、何ら落札業者に気がつかなかった。2、3の業者より、今回の落札業者は町に指名願を提出していないのに入札に参加して落札しているとのこと。

私はまさかとの思いで調査したら、残念ながら落札してしまいました。町長、財務規則5条2項と又16条に町指名入札参加の規則があり、参加資格の審議会である指名審査会を通し指名業者の参加名簿に載るものです。しかし指名入札参加資格のない業者はどのようにして入札参加でき又落札できたのか答弁者の財政課長に聞くものです。

ただ課長は町内代表より頼まれたとのことですが、課長は町内会の行政説明に参加していなかったとのことですが、それでは課長は入札参加通知書を出しなさいと誰が指示したのか。自分で違法行為をしたのか、お尋ねするものです。

又2項については、小泊地区の消防建物の改築工事ですが、指名入札を辞退した業者が数社あったとのこと。その辞退理由は設計書にあるのか、その点で理由の報告をお願いするものです。

### ●小野町長答弁

ご質問の指名競争入札参加について、私からは入札参加指名されたのに3業者の辞退があったことについてお答えいたします。

この日の入札の件数は、11件でありました。のうち4件の入札について辞退がありました。入札の辞退につきましては、ご指摘の3業者ばかりではなくして、いろいろな事情により、辞退しているものと思っております。

例えば当町の入札は、工事価格を提示して行っておりますので、価格が折り合わない方、受注量が多くて手の回らない方、また体調不良により辞退する方など、

理由はさまざま考えられます。町としては、確実な工事の進捗を願ひ、優秀な業者を選定しているつもりです。入札を辞退するということにつきましては、それぞれ理由はありますが、非常に残念に思っている次第であります。しかしながら、入札を辞退することは、指名された業者の自由でございますので、以後の入札における指名等について不利益を受けることはないことを申し添えておきます。

### ●浪内財政課長答弁

奈良議員の今年6月中旬に建物改修工事の入札があった指名参加願ひが提出されていなかったのに参加落札ができたのはなぜか、審査会の内容をお尋ねするにお答えします。

今年6月中旬の入札は、6月15日の尾別老人憩いの家の改修工事のことと思いますが、最初にお答えする前に質問の後段に指名審査会の内容をお尋ねするとありますが、中泊町建設業者選定要綱の第10条、秘密の保持に審査会の会議の内容は、他人に漏らしてはならないとありますので、ご容赦願ひますが、それに触れない範囲でお答えします。

議員ご指摘のとおり指名願ひが提出されていない業者も指名いたしました。中泊町契約規則第16条、先ほど議員が申し上げていたとおりでございますけれども、そのただし書きにおいて、指名競争入札参加者名簿に登載した者の中から指名することが困難であると認めるときは、指名競争入札参加資格者名簿に登載されていない者とあわせて指名することができると思

また、中泊町建設業者選定要綱第2条第1項には、業者を選定しようとするときは、競争入札参加資格審査申請書提出業者の中から選定するものとする。いわゆる指名願ひを出している者から選定するものとするとなっておりませんが、同条第3項に特別の理由があるときは、第1項の規定にかかわらず業者を選定することができるとあります。規則のただし書きとか要綱の特別の理由とかを運用上やむを得ず適用させたものであります。

このことは、仮称新中泊町一般廃棄物最終処分場の建設に当たり、尾別交渉委員会からの要望の中に、尾別老人憩いの家の改修工事に関する要望があり、その改修に当たり、地元の建設業者をも推薦してきましたが、その業者との随意契約で工事を発注し、契約することは、法令等で規定されている以外はルール上ゆるされません。そこで、設計額が確定し、指名競争入札をいたしますが、その前に審査会を開催するわけであり、契約担当者は、通常特別なことがなければ、指名願ひを提出している事業者から指名競争入札参加者名簿に登載し、入札指名審査会に諮るわけでありませんが、尾別地区においては、1人の業者も建築関係に係る指名願ひを提出しておりませんが、集落の尾別交渉委員会からの要望に沿うよう、また新中泊町一般廃棄物最終処分場の建設を進めるに当たり、正当な競争原理の働く中に苦渋の決断でもって指名願ひ未提出業者である者を1名指名いたしました。

### ●成田総務課長答弁

この件に関しては当時私が環境衛生課にいたときに

担当したものですので、今の尾別交渉委員会の中のことをご説明申し上げまして、少しでも誤解を解きたいと思ひます。

平成20年11月10日、尾別老人憩いの家で尾別上高根地区交渉委員会協議がなされまして、その中で委員会の組織もつくられ、要望事項が挙げられました。その内容は、大型車両の構築性の強化を図ること、道路の改良、老人憩いの家の改修事業等が出されました。その中で、特に老人憩いの家の改修の中では、交渉委員会から何とか尾別の地元業者をお願いできないものかということがあり、当時の私から町長にご説明申し上げました。

本来であれば、議員ご心配していることについて、4月16日に民生文教常任委員協議会において、地元業者の改修の要望についてあったということを説明申し上げましたが、その他については、議員の方々に全員協議会を開くなどご説明申し上げる機会を逸しておりました。今さらながらではございますが、反省しております。



## 6年1組

## 中里小学校6年生 議会傍聴の感想

力石 祐樹…話の内容が難しくよくわからなかったけど、町のことを決める

話し合いがどういうふうに行われているかわかりました。

古川 雄也…議会を見て、どんなふう質問や意見などをして話し合いを進めているのかわかりました。みんな真剣にやっています町のことを一生懸命考えていました。

今 翼…初めて議会を見て、議員さん達が真剣に町のことを考えて議論していてすごいと思いました。特に高齢者のことを考えていたことには関心しました。

大川 玲奈…今日の議会を見て、最初はこういうことを話すのかわからなかったけど、実際に見ているいろいろなことがわかりました。

珍田 拓揮…議会を見た感想は、思っていたよりすごかったです。ああいうのはテレビでしか見たことがなかったので見ることができてよかったです。少し言っていることが難しかったけど、議会を見ているいる勉強になりました。

小野 千慧…初めて議会を見て、議員のみなさんが真剣に話をしたり、聞いてりして、中泊町のために意見や質問をたくさんしていた姿を見て、自分も少しずつ中泊町のことを考えたいと思いました。

西村 映美…議員さん達が積極的に意見や質問をしていてすごいなと思ったし、議長さんの話の進め方がうまいなと思いました。

珍田 桃花…議員さん達は町のことを考えていて、こういうことをすればどうかなど、いっぱい意見や質問をしていて、こうやって町のことが決められていることがわかってすごいと思いました。

大川 未来…初めて議会を見ました。議長さんや議員さん達がいろいろなことを話し合っていました。議員の人達は、進んで質問をしていますすごいと思いました。

秋元 咲穂…議場の中に入ると、私達の他にも議会を見に来た人がたくさんいたけど、すごく静かだったのでびっくりしました。町のためにいろいろな質問が出ていてすごいなと思いました。

鈴木 悠太…みんな真剣でちゃんとしたことを言っていたので、さすが選ばれた人達だなと思いました。ゴミの収集の時に、自分も分別してな

いのかなと思いました。

鈴木詢一郎…議員の人達はとても真剣で、町のことや町民が不満に思っていることなどを解決しようと、一生懸命取り組んでいました。

大屋 慎…発表する人がわかりやすく言ってくれて、すごく聞き取りやすかったところがすごいなと思いました。また見に行きたいです。

松橋 央佳…初めて議会を見て、町ではいろいろ話し合っているんだなと思いました。青森に新幹線が通るといいうことで、中泊町をPRしていきたいと言っていました。ぜひ実現してほしいなと思いました。

諏訪 実久…議長さんは話を進めていて、議員さんは自分の意見をはっきりと言い、その意見を聞いて他の議員さんも質問などを真剣にやっていたので、最後まで緊張したけど見てよかったです。

木村 実結…議員の人達は、みんな中泊町をよくしていこうと頑張っていました。初めて見たけど議会の様子は、予想していたよりも静かで緊張しているように見えました。

三上 朝賀…議場はとても静かでした。質問する人、それに答える人達のはきはきして、町のために真剣に取り組んでいたの、すごい人達だなと思いました。

菊地しづき…議会で話している人達はすごく難しいことを話したり、質問の内容も長くてすごいなと思いました。

古川 龍見…みんな真剣に話をしたり、話を聞いたりしてすごいなと思いました。

長峰 光汰…議員さんからの同じことに対する質問でも違う意見がありました。質問を言う人はとても長くて真剣だったので、すごいなと思いました。

工藤 花奈…議場はもつと狭いかなあと思っていたけど、広く静かな所でした。議員さん達は、町のためにとても一生懸命に受け答えをしていました。

鈴木 萌生…議員の人達は、町や町の人達のことをすごく考え、積極的に意見や質問をしていました。もう少しでできる新幹線に乗って来る人達もとても、議員さん達は考えていてすごいなと思いました。

## 6年2組

鈴木美早紀…一生懸命・真面目・真剣に話し合っていたので、この話し合いは

本当に大切なんだなあと思いました。最初に議場に入ったときは、総理大臣がいる国会みたいだと思いました。一つのことこんな時間に時間をかけて解決していくんだなあと思いました。

三上 智暉…今後の中泊町がどうなっていくかを討論していて、とても迫力が

ありました。思っていたより議場が狭かったです。いろんな議員の人達が今の中泊町を変えていこうと頑張っていました。

外崎 達矢…議会の傍聴は初めてでわからなかったのですが、真剣に聞いていま

した。途中飽きてきたけど、初めて議会をやっているところを見るのができたのでよかったです。

小野 晴加…部屋が緊迫した空気で緊張しました。議員さん達がたくさんの方

見を出して、その内容は少し難しかったけど、生活に役立つことを提案しているのはとてもいいなと思いました。

荒関 剣…はっきり意見をしゃべっていて、すごいと思いました。

小寺 愛美…みんないろいろなことを発表して、質問に答えていました。ワグ

チン予防接種の無料化や新幹線などのことを話していました。みんな大きな声で発表していたのですごく良かったです。

外崎 雄斗…内容が難しく、あまり意味がわかりませんでした。議会中はず

でも静かでした。

古川 真人…たくさんの方が、質問や意見をしゃべっていました。偉い人がい

ばいいて、インフルエンザや新幹線のことなどをしゃべっていて、良い勉強になりました。

古川 実矩…テレビで見る国会では、ケンカをしているような時もあるけど、

中泊町の議会は仲良く話していたので平和でした。

岩田 彩香…たくさんの方が話を聞きに来ていたのでびっくりしましたし、中は結

構広くて机にマイクが付いていてすごいと思いました。話の内容は難しくよくわからなかったけど、自分の意見をはっきり大きな声で話してすごかったです。

小山内菜摘…テレビで見る国会では、大声で反対意見を言うこともあるけど、

中泊町の議会は、町長さんや教育長さんが出てきて、みんな静か

山本

夏恋…しっかり質問をしていたし、静かにスムーズに話し合いが進んで

いたのですごいなあと思いました。議員のみなさんがやさしく声をかけてくれたので嬉しかったです。マイクやスピーカーがたくさんあって驚きました。

小野

杏莉…初めて入った場所なので、少し緊張しました。話をしている人の方

を見て話を聞いていたけど、難しくあまりわかりませんでした。しかし、町にとって大事なことを話し合っていることは伝わって

古川

優花…難しい言葉が多かったので、内容はあまりわかりませんでした。

しかし、町にとって大事なことを話し合っていることは伝わって

葛西

佑姫…議会中に声を出した人がいて、注意された時は退場させると言っ

ていたのですすごいと思いました。質問をしないのかなあと思っていたら、ちゃんとしていました。難しい言葉があつてよくわから

小野

若菜…初めはシーンとしていて緊張したけど、後ろに座った人がおもし

ろくて緊張が解けました。女の議員さんが初めに話したけど、私

神

志奈…ちゃんと自分の意見をはっきりと伝えていてすごいと思いました。

私にもすごくわかりやすく言っていたので嬉しかったです。

藤本

玲菜…会議では、町長さんや課長さんなどが、インフルエンザやゴミの

分別などの問題について、とっても長い時間話し合っていました。

中

未音…みんなが自分の言いたいことを、きちんと伝えていたからすごい

と思いました。塚本議員さんは、大きな声でみんなはどう思うかなどと聞いていて、すごく立派だと思いました。他の人達もすご

中泊町

の議会は、町長さんや教育長さんが出てきて、みんな静か

かったです。

『中里小学校6年生の皆さん、感想ありがとうございます。』

当日、インフルエンザで傍聴できなかった方、機会があったら傍聴に来てください。』

**民生文教常任委員会 (秋元啓志 委員長) 11月20日(金)**

〈案 件〉

- ・教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
- ・高齢者の肺炎球菌ワクチン接種の助成に関する陳情
- ・乳幼児期のヒブワクチン接種助成に関する陳情
- ・その他



**議会運営委員会 (米塚慎一 委員長) 11月20日(金)**

〈案 件〉

- ・平成21年第4回中泊町議会定例会会期日程について
- ・提出議案について
- ・陳情書の審査結果について
- ・新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- ・その他



**【10月】**

9日 西北津軽郡議長会

13日 産業建設常任委員協議会

総務企画常任委員協議会

22日 民生文教常任委員協議会

23日 第1回中泊町社会福祉大会

24日 なかどまり町民祭(小泊地区)

米塚義定氏旭日小綬章受賞祝賀会

26日 例月出納検査

27日 例月出納検査

28日 正副議長・事務局長研修

30日 なかどまり町民祭(中里地区)

**【11月】**

4日 新過疎法制定促進総決起大会

5日 総務企画常任委員会視察研修

11日 全国町村議長会議長大会

16日 つがる西北五広域連合議会

19日 知事を囲む行政懇談会

20日 第5回臨時議会

民生文教常任委員会

議会運営委員会

24日 高規格道路建設整備促進青森県総決起大会

25日 例月出納検査

26日 例月出納検査

中泊町善行・功労者表彰式

**【12月】**

2日 第4回中泊町定例会開会

3日 北郡福祉大会

7日 本会議 一般質問

8日 本会議 単行案審議・採決・閉会

9日 中泊町水田農業推進協議会

10日 第5回中泊町老人クラブ連合芸能大会

会

議会運営委員会視察研修

11日 西北五環境整備事務組合定例会

16日 五所川原地区消防事務組合議会

17日 例月出納検査